

ビル設備サービス科

定員 **24名** 訓練期間 **6カ月** 開始月 **4月、7月、10月、1月**



▼ こんな人材を育成しています ▼

訓練目標

ビル設備には、空調・熱源・衛生・照明・受変電・消防防災等の各種設備があり、近年ますます複雑、高度な制御監視・管理が行われています。ビル設備を最適な状態にするための専門的な機器の原理、運転、取扱いに関する知識及び技能を習得します。



カリキュラム内容



1カ月毎の訓練によって習得する具体的な内容を以下に整理しました。一つの目安として参考にしてください。



1. 電気工事単位作業

電気配線工事に関する技能及び関連知識を習得します。(計器の取扱い、配電、配線設計、電線の接続法、配線図の読み方、ケーブル配線、電線管工事、関係法規等)

2. シーケンス回路組立作業

シーケンス制御、受変電設備に関する技能及び関連知識を習得します。(シーケンス図の見方・書き方、シーケンス基本回路の製作、自家用電気工作物の保守点検等)

3. 情報活用実習

パソコンを利用した文書作成・データ管理及び設備CADに関する技能及び関連知識を習得します。(各種報告書の作成、管理データの整理、配管の基礎事項、配管製図等)

4. 空調設備点検作業

ビル空調設備の保守管理と故障診断に関する技能及び関連知識を習得します。(空調設備概論と空気線図、冷凍理論と冷凍機の取扱い、モリエル線図、ガスチャージ等)

5. 室内環境測定実習

消防防災設備の保全管理及び点検またはビルクリーニング作業及び室内環境測定に関する技能及び関連知識を習得します。(自動火災報知設備及び消火設備の工事・操作・保守・室内環境測定、弾性床面洗浄作業、関係法規等)

6. ボイラー取扱い実習(ボイラー実技講習)

給排水衛生設備の工事と保全管理に関する技能及び関連知識を習得します。(器具の取扱い、給排水管の接続、給排水衛生設備の保守と診断、関係法規等)



このような人に向けています



当科を希望する方の年齢、性別、実務経験は一切不問です。ただ就労を考えた際に必要とされることは下記のようなものがあります。

- ①コミュニケーション能力のある方。
- ②向上心や好奇心を持っている方。
- ③夜勤や24時間拘束勤務等があるため対応できる方。

★ 訓練中に取得できる資格 ● 任意に取得する資格

- ★ ボイラー実技講習修了証
 - 第二種電気工事士 ● 二級ボイラー技士
 - 第三種冷凍機械責任者 ● 危険物取扱主任者乙種第4類
 - 消防設備士乙種第4類
- ボイラー実技講習(兵労基安登録 第3号 登録の有効期間満了日 平成31年9月30日)

修了後に期待される仕事内容

ビル管理業、ビルメンテナンス業、ビルクリーニング業、警備業

就職率
[平成25年度]

90.2%

常用就職率
[平成25年度]

61.4%